

# 41 デッキ材固定工法

## QCS工法 (クイック クッション スクリュー) 特許

### コストパフォーマンスに優れたQCS

#### QCSの必要数量 (1㎡あたり)

220mm幅デッキ材の場合	: 約11個~15個
145mm幅デッキ材の場合	: 約16個~20個
95mm幅デッキ材の場合	: 約24個~28個



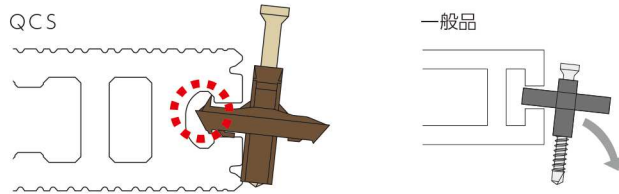
QCSはデッキ固定のみのシンプルな機能でコストパフォーマンスに優れています。

本体: ガラス繊維入り  
ポリカーボネート  
ビス: SUS410

### スムーズな施工を実現する「矢じり」

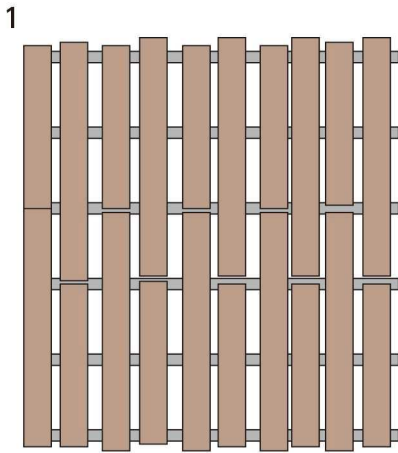
特許

QCS にはデッキ材スリットへ確実に引っかかりを可能にする「矢じり」があります。このため、施工中にデッキ材を動かしたりした場合にもQCSが外れにくく、スムーズな施工が可能です。これに対し一般品には引っ掛かりがないためデッキ材から脱落しやすく、施工が手間取る原因となっています。

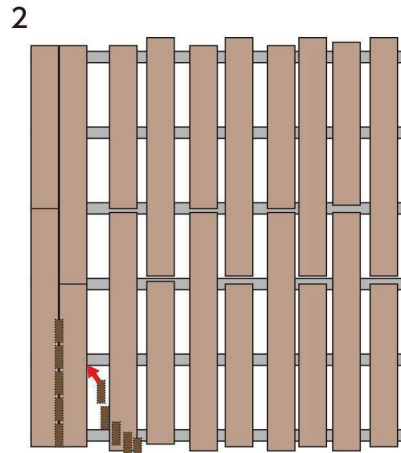


商品改善のため、外観・仕様を予告なく変更する場合があります。印刷のため、商品の色・質感は実物と多少異なる場合があります。

## 業界ナンバー1のスピード工法



1 端部のデッキ材の位置を固め (ビス止め又はデッキ端部固定金物等)、使用するデッキ材を根太の上に置いていきます。(ランダムで構いません。)

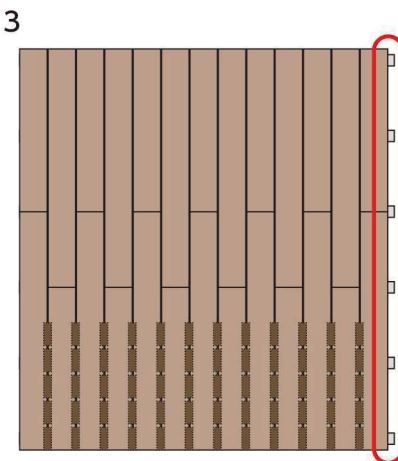
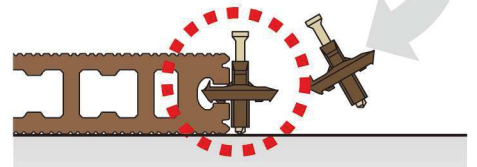


2 デッキ材にQCSの矢じり側を差し込み、順々に次のデッキ材を仮設置していきます。

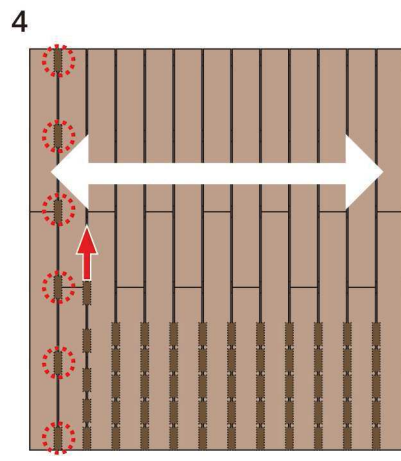
**Point** QCSはスライド可能なため、この段階では固定位置 (根太上) になくても構いません。



長手方向の目地は、QCSを差し込むとぴったり5mmを確保できます。

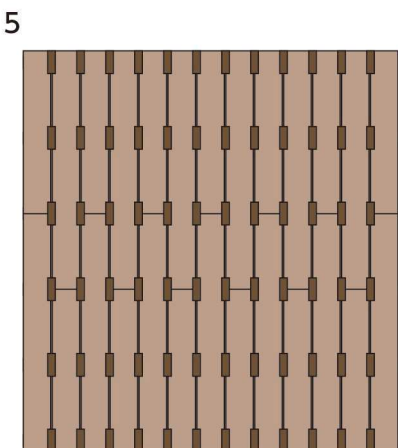
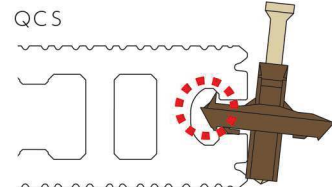


3 一通りデッキ材を仮設置します。

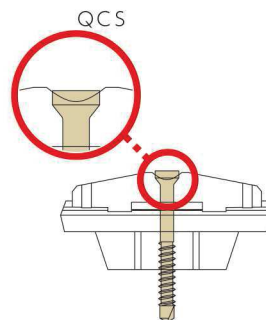


4 デッキ材を根太上で動かして均等に分散させつつ、QCSを根太上にスライドし、仮固定します。使用するビットは2番 (細め) です。

**Point** QCSなら矢じりがデッキ材のスリットに引っかかって落ちにくいので、デッキ材を動かして均等に分散させるのも容易です。引っかかりのない一般的な固定部品だと、デッキが動くと落ちてしまって作業が滞りがちです。



5 QCSビスを本締めして固定します。



本締めする際、QCS本体にビス頭がめり込まないようにトルクを調整して締めて下さい。めり込み過ぎると、QCSが壊れてメンテナンス時にビスが外せない場合がありますのでご注意ください。